

## 1. 館長挨拶

芝浦工業大学図書館

館長 廣田 佳久

芝浦工業大学は、創立100周年を見据え、「Centennial SIT Action」のもと、アジアの工科系大学トップ10入りという高い目標を掲げ、全学的な改革と挑戦に取り組んでおります。図書館もまた、学術の中核を担う機関として、その一翼を担うべく、2024年度は以下の目標を掲げて活動を進めてまいりました。

実施目標：他部署と連携したオープンアクセスの促進と先進的な大学図書館の調査

達成最終目標：・図書館システムをリプレイスし、本学独自の機関リポジトリの構築

・学内におけるオープンアクセス数を把握

### ○オープンアクセス推進体制の整備と成果

2024年度には、文部科学省「オープンアクセス加速化事業」に採択されました。これを契機に、学術情報センター・SIT総合研究所・複合領域産学官民連携推進本部の教職員で構成する「SITオープンアクセス推進タスクフォース」を設置いたしました。この部局横断的な連携の下で「SITオープンアクセス推進プロジェクト」を推進しています。

同プロジェクトにより教員業績システムと図書館システムを連動させた「SIT OA支援システム」を導入し、論文情報の自動取得・登録により、機関リポジトリを活用したオープンアクセス化の手続きを大幅に効率化いたしました。

### ○学内施設の機能強化と利用促進

学部ラーニングコモンズとの機能融合を図るため、2025年1月には豊洲図書館に新たな通路を整備し、研究棟側からのアクセスを容易にすることで、図書館の利用率向上を実現しました。また、キャリアサポート課との連携を強化し、個室ブースのオンライン面接会場としての提供や、主要企業400社の資料およびデータベースの整備を進めました。さらに、企業情報データベース「eol」を活用した有価証券報告書による企業研究セミナーの参加者数は、前年を大きく上回りました。

### ○外部ベンチマークと今後の展望

図書館サービスのさらなる高度化を図るため、学生一人当たりの貸出冊数が全国有数である創価大学図書館の調査を実施しました。同館の先進的な取り組みであるRFIDタグの活用は、今後本学における導入検討の一助となっております。

図書館は今後も、教育・研究活動の基盤として、また未来を担う学生の学びと成長を支える空間として、より一層の進化を目指してまいります。引き続き、学内外の皆様方からのご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。